



問合せ先  
第二管区海上保安本部  
交通部航行安全課長 江野 徹  
022-363-0111 (内線 2620)

平成30年4月10日  
第二管区海上保安本部  
午前10時00分

## 『冬期海難防止対策』の実施結果について

第二管区海上保安本部では、冬期における発達した低気圧の影響等に起因する海難を防止するため、平成29年11月1日から平成30年3月31日まで、日本海沿岸及び陸奥湾内を航行する貨物船等に重点を置いた「冬期海難防止対策」を実施しました。

期間中の主な取組みと、気象・海象に対する不注意及び荒天対策の不備による船舶事故の発生状況は次のとおりです。

### 1 実施結果 (カッコ内は外国船の隻数)

#### (1) 海上保安官による訪船指導等

- ・ 停泊中の船舶…………… 1, 061 (145) 隻
- ・ 船舶代理店や漁協、港湾工事事務所等…………… 195箇所

#### (2) AISメッセージ及び国際VHFを活用した情報提供

- ・ 荒天時に日本海及び陸奥湾へ向けて航行する船舶… 368 (102) 隻

#### (3) 海難防止講習会

- ・ 実施回数…………… 65回
- ・ 参加者…………… 1, 625人



船舶乗組員への訪船指導



漁業者に対する海難防止講習会

## 2 実施期間中の気象・海象に対する不注意、荒天対策不備による船舶事故発生状況（速報値）

### (1) 船舶事故

- ・ プレジャーボート…………… 1 隻(前年比－1 隻)
- ・ 漁船…………… 1 隻(前年比±0 隻)

### (2) (1) の船舶事故に伴う死者、行方不明者数

- ・ 死者…………… 1 人(前年比±0 人)
- ・ 行方不明者…………… 0 人(前年比±0 人)

※ なお、重点対策に掲げた「日本海及び陸奥湾における貨物船等による船舶事故」は 0 隻でした。

用途	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	気象海象に対する不注意	荒天対策の不備	気象海象に対する不注意	荒天対策の不備	気象海象に対する不注意	荒天対策の不備
貨物船	2	0	0	0	0	0
タンカー	0	0	0	0	0	0
旅客船	0	0	0	0	0	0
プレジャーボート	1	0	2	0	1	0
漁船	0	0	1	0	1	0
遊漁船	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	3	0	2	0

(注1) 気象・海象に対する不注意、荒天対策の不備による船舶事故とは、気象・海象の判断を誤る等して発生した船舶事故及び荒天のための準備が不完全であったことから発生した船舶事故をいいます。

(注2) 不可抗力による船舶事故は、計上されておられません。

### ○船舶事故概要



#### ①平成 29 年 11 月

日本海側において、漁船（2 人乗組）が投網準備をしていたところ、高波を受けて船体が急傾斜し、乗組員 2 人が海面に投出された。

乗員 1 人が死亡、船体は、砂浜に乗揚げた。



#### ②平成 30 年 3 月

太平洋側において、ミニボート（1 人乗組）が沿岸で釣り中、船内に波が入り半没した。

乗員に負傷なし。